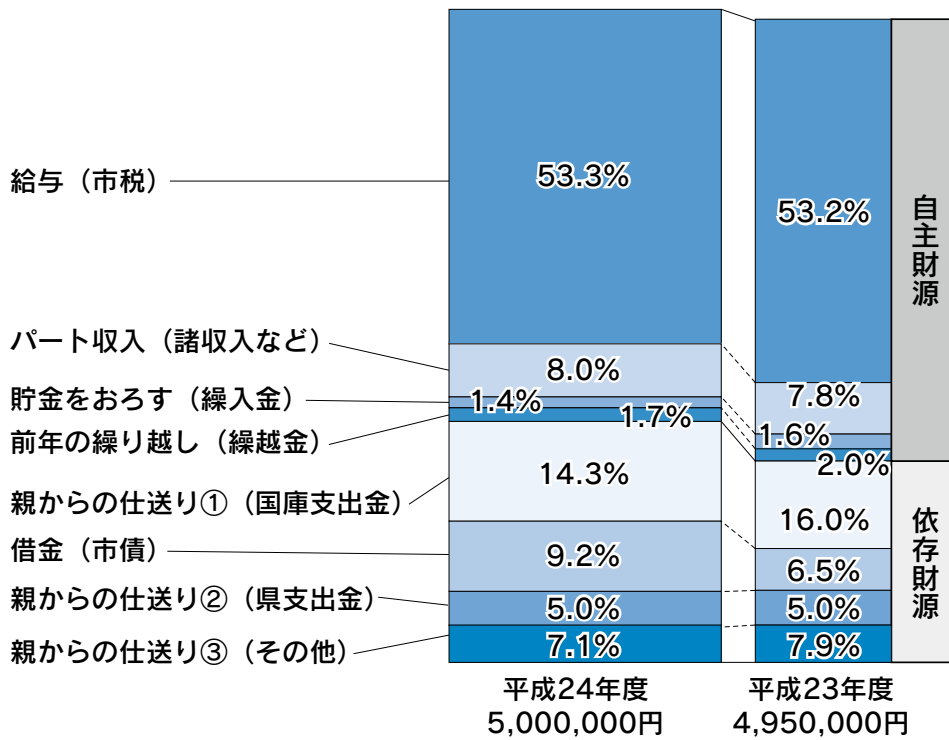


一般会計 当初予算の歳入を 年収500万円の 家庭の収入に 例えてみました



歳入用語解説

●自主財源

市税など、市が自主的に確保できる収入。

市税

個人市民税・市たばこ税など、市民の皆さんなどが市に納める税金。

諸収入など

預金利子・施設利用料・負担金など。

繰入金

年度間の財源調整のため積み立てている財政調整基金などから取り崩す収入。

繰越金

前年度から繰り越された収入。

●依存財源

国庫支出金や市債など、国などの決定に基づいて交付される収入。

国庫支出金

特定の事業を行うための財源として国から交付される収入。

市債

事業を行うために国などから借り入れる収入。

県支出金

特定の事業を行うための財源として県から交付される収入。

その他

地方消費税交付金・地方交付税・地方譲与税・地方特例交付金など。

年収500万円の場合の歳入構成

(単位：円)

| | 収入(歳入) | H24当初予算額 | H23当初予算額 | 増減額 |
|------|-----------------|-----------|-----------|---------|
| 自主財源 | 給与(市税) | 2,665,000 | 2,633,400 | 31,600 |
| | パート収入(諸収入など) | 400,000 | 386,100 | 13,900 |
| | 貯金をおろす(繰入金) | 70,000 | 79,200 | △9,200 |
| | 前年の繰り越し(繰越金) | 85,000 | 99,000 | △14,000 |
| 依存財源 | 親からの仕送り①(国庫支出金) | 715,000 | 792,000 | △77,000 |
| | 借金(市債) | 460,000 | 321,750 | 138,250 |
| | 親からの仕送り②(県支出金) | 250,000 | 250,470 | △470 |
| | 親からの仕送り③(その他) | 355,000 | 388,080 | △33,080 |
| | 合計 | 5,000,000 | 4,950,000 | 50,000 |

■歳入の増減について、昨年度と比べてみると

●自主財源が22,300円増えました。

- 給与(市税)が増えました。
→法人市民税、市たばこ税、都市計画税の増加などにより、31,600円増加。
- パート収入(諸収入など)が増えました。
→土地売却収入の増加などにより、13,900円増加。
- 貯金をおろす(繰入金)が減りました。
→基金からの繰入金の減少などにより、9,200円減少。

●依存財源が27,700円増えました。

- 親からの仕送り①(国庫支出金)が減りました。
→子ども手当国庫負担金の減少などにより、77,000円減少。
- 借金(市債)が増えました。
→新河岸駅周辺地区整備、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)整備などの大規模事業の推進に伴う増加などにより、138,250円増加。
- 親からの仕送り③(その他)が減りました。
→地方交付税の減少などにより、33,080円減少。

一般会計 当初予算の歳出を 年収500万円の 家庭の支出に 例えてみました

歳出用語解説

● 義務的経費

支払いが義務づけられ、任意に削減できない経費。

扶助費

各種医療費・生活保護費などにかかる経費。

人件費

職員の給料などにかかる経費。

公債費

市の借金を返済するための経費。

● 投資的経費

将来にわたり使用する道路などの社会資本を整備するために使われる経費。

普通建設事業費

道路・学校などの公共施設の建設や、そのための用地取得に使う経費。

● その他の経費

義務的経費・投資的経費以外の目的で使う経費。

物件費

市の業務を外部に委託したり、消耗品を購入したりする経費。

繰出金

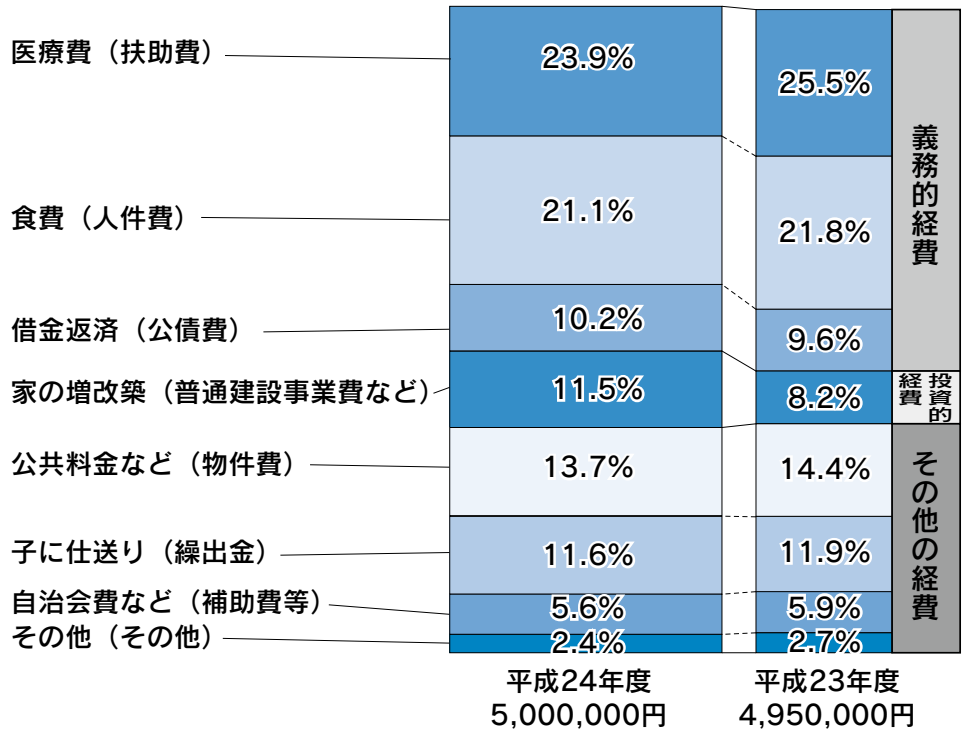
特別会計などに支出する経費。

補助費等

各種団体に支出する負担金・補助金など。

その他

貸付金・維持補修費・積立金など。



年収500万円の場合の歳出性質別構成

（単位：円）

| | 支出（歳出：性質別） | H24当初予算額 | H23当初予算額 | 増減額 |
|-----|------------------|-----------|-----------|---------|
| 義務 | 医療費（扶助費） | 1,195,000 | 1,262,250 | △67,250 |
| | 食費（人件費） | 1,055,000 | 1,079,100 | △24,100 |
| | 借金返済（公債費） | 510,000 | 475,200 | 34,800 |
| 投資 | 家の増改築（普通建設事業費など） | 575,000 | 405,900 | 169,100 |
| その他 | 公共料金など（物件費） | 685,000 | 712,800 | △27,800 |
| | 子に仕送り（繰出金） | 580,000 | 589,050 | △9,050 |
| | 自治会費など（補助費等） | 280,000 | 292,050 | △12,050 |
| | その他（貸付金など） | 120,000 | 133,650 | △13,650 |
| | 合計 | 5,000,000 | 4,950,000 | 50,000 |

■ 歳出の増減について、昨年度と比べてみると

● 義務的経費が56,550円減りました。

- ・ 医療費（扶助費）が減りました。
→生活保護費の増加などがあつたものの、「子ども手当」から「児童手当」への制度改正に伴う減少などにより、67,250円減少。
- ・ 食費（人件費）が減りました。
→退職手当の減少などにより、24,100円減少。
- ・ 借金返済（公債費）が増えました。
→資源化センター建設の償還金の増加などにより、34,800円増加。

● 投資的経費が169,100円増えました。

- ・ 家の増改築などにかかる費用（普通建設事業債など）が増えました。
→新河岸駅周辺地区整備、西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）整備、川越駅西口駅前広場改修の増加など。

● その他の経費が62,550円減りました。

- ・ 公共料金など（物件費）が減りました。
→予防接種の医療機関委託料の減少などにより、27,800円減少。
- ・ その他（貸付金など）が減りました。
→中小企業関係融資の減少などにより、13,650円減少。